



◇デスク廻り 色彩豊かなオフィスには、適度な刺激と創造性が満ち溢れ、集中力が高まる工夫が施されています。



◇事務スペース 円弧を描くデスクの繋がり、執務空間にいなから自由で柔軟な発想を喚起する役目を果たします。

「風水術」は環境の東洋医学である、と言われた意味とその効果を自ら体験する中で掴んだ真実を、今後、自社の事業領域の中にも取り込むことで広く社会貢献をしたいと考えています。

次に着手したのが、社内のアンケート調査からでもわかった「コミュニケーションの改善」でした。どこか他力本願的なところがあった以前の気質・体質を変えていくために「社員・人材が会社の強み」であることを公にも標榜することで、社員一人一人の意識がみるみると変わっていききました。経営者として「奇門遁甲」や「密教」を学んだことが、「風水」と合わせて効果を発揮し始めた具体的な成果の一例でした。

「風水術」は環境の東洋医学である、と言われた意味とその効果を自ら体験する中で掴んだ真実を、今後、自社の事業領域の中にも取り込むことで広く社会貢献をしたいと考えています。

「風水術」は環境の東洋医学である、と言われた意味とその効果を自ら体験する中で掴んだ真実を、今後、自社の事業領域の中にも取り込むことで広く社会貢献をしたいと考えています。

**Q2 「風水オフィス」で業務を開始されるまでに、どのような変化や体験がありましたか……。**



上◇会議室 心地よい間接照明による陰影と深い色彩が高ぶる気持ち落ち着かせ、質の高い議論をもたらします。

右◇エントランス 間接照明による優しい光が降り注ぐエントランスでは、空間の広がりゆとりを感じさせます。

**人間は、脳を含めた全ての神経系を通じて周囲の環境を察知し、また、影響を受けている……。**  
この言葉に触発され、また、体現したことで**自社の企業理念・事業定義を大きく策定し直し新たな事業領域やサービスを開拓することとなる。**  
自社オフィスの新築・改装を期に**より創造性豊かで、挑戦的な企業体質をつくり社員一人一人の達成感や幸せは勿論のことオフィスの環境整備を通じた社会貢献へと羽ばたく。**



## 風水オフィスを訪ねて

千葉県千葉市・株式会社セキネ

「世界中のオフィスを幸せにしたい」という壮大な企業理念の実現に向けたその第一歩を、まずは自社から実践していくことで、世の中に活気と旋風を喚起する。

## FENG-SHUI Interview

**Q1 「風水オフィス」との出会い、建てることになったきっかけとは何だったのでしょうか……。**

私たちの会社は、祖父が始めた万年筆の代理店からスタートし、創業80年を越える社歴をもつ事務用品の専門商社です。私が社長に就任することが決まった5年前には、オフィス家具のレイアウト・整備からコンサルティングまでの領域をカバーする企業になっていきましたが、実は当時、様々な問題や不満などが社内には溜まっていた。

「会社を変えなければ……」と心に決め、いろいろなセミナーや勉強会などに出てみたりしましたが、一向にその要諦が掴めないまま、正直、焦燥感にかられていたところ、たまたま人に勧められて行ったマッサージ屋さんで大きな出会いが起きました。「風水」です。その店は大した造作ではないのですが、千葉県下の名だたるVIPが集まる場所で、聞くと「風水」で店を作ったということでした。

それまでは「風水」と言われても、どこか迷信めいたものかと思っていたのですが、ちょうどその頃に、知合いが「風水」でオフィスを建てるというので見に行き、話を聞いていたうちに松永先生と繋がる「縁」ができました。初めて「風水鑑定士養成講座」を受講したときに松永先生と出会ったのですが、その時はまだまだ半信半疑でした。しかし、話を聞き進んでいくとその内容は「目から鱗」の連続で、すっかり初めて知る「風水環境科学」の世界とその素晴らしさに嵌まっていきました。

当時、会社と自宅があった地域が再開発されることになり、会社・自宅の移転が決まりました。そして、社長就任……。「100%自分の人生を支配するすべての要素と環境が変わった」ことで大きな人生の転機を迎えていました。松永先生のカウンセリングを受けたときに「私の風水は、運命を変える風水です」と言われたことを今でもよく覚えています。その後、「風水」、「奇門遁甲」、「空海密教」と続けて学んできました。それに伴い、会社の中の問題が徐々に表面化していききましたが、次の年には、会社の実績も目に見えて良くなりました。

**Q3 「風水オフィス」に移られて、どのような変化や周りからの反応がありましたか……。**

これは私の持論なのですが、「風水とは、近代科学の体系が成立するまでの長い歴史の中で、多くの人間や建物などを観察し続けることで蓄積してきた、極めて自然科学的体験の学習成果をまとめたもの」だと思っています。そのような意味でも「風水は環境・場の東洋医学」であるという松永先生の考え方や実践の手法は、私に、社員一人一人に、来訪者の方々に明快にその効果をもたらしています。

何も知らない得意顧客様が「最近、まったく違う会社のようになったね」と話されるのを聞き、また、社員たちが生き活きとして就労しているのを見ると「風水環境科学」がもつ底知れぬ可能性を感じています。今後、私たちの会社でも「風水」をキーワードにした商品やサービスを開発して、独自の事業領域を拡げていきたいと考えています。

最近、社内でアンケートをとりました。その結果を披露することで、これを読んでいらつしやる読者の方々にも弊社内で起こったことを追体験してもらえれば、これも社会貢献のひとつではないかと思えます。「デスクの配置が変わったことをきっかけに、社内の他の人に声かけ易くなった」、「担当者以外の人も、ゴミが出ていると自分から積極的に捨てるに行くようになった」、「収納スペースが決まれているので、絶えず整理・整頓する癖がついた」、「PCが代わったわけでもないのに、目薬がほとんど不要になった」など、オフィス環境を風水仕様にしたことで起こった物理的・生理的な変化や事象とその代表的な声です。

「集中して仕事ができるようになった」、「会社にいる間は疲れを感じない」、「気持ちに何となくゆとりが出てきた」、「気持ちの切替えが早くできるようになった」、「みんなの表情が明るくなった」など、「風水」を体感した結果、各自が感じた心理的な変化です。

松永先生に触発されて「オフィス環境科学」を旗印に掲げ、オフィス環境整備事業に取り組み始めました。「世界中のオフィスを幸せにしたい」。これが私たちの理想であり、今では企業理念にもなっています。